

あつま 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①本郷いこいの森リレーマラソン参加者募集／文化・スポーツ教室
- ②厚真未来カレッジ登山家戸高さんの特別講演／アイヌ文化関連イベントのご案内
- ③教育委員会SNS紹介／第2期英会話教室開催／上厚真パークゴルフ場利用中止
- ④AL T紹介／ありがとう！メリッサ／7月定例教育委員会
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動報告

秋の厚真町を走ろう リレーマラソン大会開催のお知らせ 本郷いこいの森リレーマラソン参加者募集中！

教育委員会では、毎年10月に健康ふれあいマラソンを開催していますが、今年度は更に11月にも総合型地域文化・スポーツクラブ設立準備委員会が主催するリレーマラソン大会を開催します。リレーマラソンとは、駅伝のようにチームでタスキをつないで、制限時間内のコースの周回数を競うマラソン大会です。コースは、本郷いこいの森遊歩道に特設コースを設営します。ご家族・ご友人と一緒に秋のさわやかな林道を走りませんか？

【大会概要】

主 催：総合型地域文化・スポーツクラブ設立準備委員会
開催日時：11月1日（土）10時スタート
場 所：厚真町本郷いこいの森（スポーツセンター隣）
参 加 料：1人当たり2,500円
参 加 賞：こぶしの湯日帰り入浴券を参加者全員に配付



本郷いこいの森をみんなで走ろう！



こちらのQRコードから申込受付中です！

ー文化・スポーツ教室ー 総合型クラブ設立準備委員会主催教室 7月24日（木）けん玉×DJ教室 みんなで楽しく盛り上がりました！

7月は、総合福祉センター大集会室で厚真けん玉クラブの斉藤烈さんを講師にお招きして、「多世代文化教室～けん玉×DJ～」を実施しました。けん玉を使ったさまざまな活動で盛り上がりました。



プロの華麗な技から足で遊ぶけん玉も！

9月22日（月）バスケットボール教室開催予定！ バスケットボールで大切なのは「膝」

安平町のバスケットボールクラブ「安平リベルタ」から講師をお招きして実施します。
日 時：9月22日（月）18：30開始
場 所：中央小体育館（厚真町新町92-1）
参加費：無料 ぜひご参加ください。



専門の指導者のもと楽しくバスケをします。

申込はこちらのQRコードから！

「今、この瞬間になにを感じるか」 厚真未来カレッジ 登山家 戸高さんの特別講演！

教育委員会では7月12日（土）、青少年センターで今年度第1回目となる厚真未来カレッジを開催しました。講師に登山家の戸高雅史さんを招き、「一瞬の無限～ヒマラヤ、日本の自然にふれ、今、この瞬間を生きる体験から～」というテーマで特別講演会を実施し、町内外から27人が参加しました。

講演会の中では、これまで登ってきたヒマラヤの山々の写真を見ながら、単独・無酸素での登山にこだわったときの思い等のほか、日常生活にごく当たり前にあふれている自然との関わり大切さなどについて話をいただきました。講演の最後には、会場となった青少年センターの屋上で厚真町の夕景を眺める時間もあり、参加者にとって貴重な時間となりました。

次回以降の厚真未来カレッジは、9月・10月・12月に実施予定ですので、ぜひご参加ください。



青少年センターの屋上での夕景を眺めたあとの集合写真

「であいと、まなびと。北海道厚真町教育委員会公式 note」で、講師の戸高雅史さんの特別インタビューを掲載しています。ぜひご覧ください。→



アイヌ文化関連イベントのご案内～ウポポイ見学・イナウ製作・カムイノミ～

教育委員会では、町内外の皆さんへアイヌ民族の伝統文化、歴史などに関連する事業を行っています。今年度は、アイヌ文化理解促進の一環として、新たに白老町のウポポイ見学ツアーを開催します。また、厚真アイヌ協会主催のイナウ（アイヌ民族の木幣・ご神体）を作る体験や、昨年度から厚幌ダム右岸小公園のチセ（アイヌ語で「家」）風あずまやを会場に開催している『カムイノミ・イチャルパ（カムイへの感謝と先祖供養の儀式）』も下記日程で行います。

アイヌ文化関連の事業へのご参加をぜひお待ちしております。

ウポポイ見学ツアー

日 時：9月21日（日）
9：30 青少年センター 発
9：45 厚南会館 発
滞在時間：10：30～15：30
参加費：無料（バス代・入場料）
※お昼はウポポイで各自となります。
定 員：先着40人
申込締切：9月12日（金）

電話もしくはメールでお申し込みください。

町の学芸員も同行するので、アイヌ文化初心者の方も大歓迎です。送迎付きなので、ぜひこの機会にご参加ください。

アイヌ政策推進交付金補助事業

イナウ製作体験

日 時：10月4日（土）15：00～17：00
場 所：軽舞遺跡調査整理事務所（旧軽舞小学校）
参加費：無料 定員：先着20人
申込締切：9月30日（火）
電話もしくはメールでお申し込みください。

カムイノミと厚幌遺跡群見学会

日 時：10月5日（日）10：00～13：00
場 所：厚幌ダム右岸小公園チセ風あずまや
参加費：無料 定員：なし
申 込：不要
詳細はホームページ・掲示ポスターをご覧ください。

申込・問合せ

軽舞遺跡調査整理事務所 ☎28-2733 ✉shakai@town.atsuma.lg.jp

教育委員会で発信しているSNSを紹介します！

教育委員会ではさまざまなツールを使い、町内外に向けて情報を発信しています。ぜひご覧ください！！



軽舞遺跡調査整理事務所
厚真町のアイヌ文化（HP）
<https://www.atsuma-ainu.info>
全国に誇れる厚真のアイヌ文化史

あつひやく 100年先の厚真を創る、
100の学びの場プロジェクト Facebookで検索！
厚真町で行われているさまざまな
教育活動を紹介しています！



厚真町総合型地域文化・スポーツクラブ設立準備委員会
『A-Style』(Instagram)
ID>atsuma_astyle
月に1回スポーツ教室 or 文化教室開催中！



『あつまでプレーパーク』(Instagram)
ID>@atsuma_playpark
自由に遊ぼうぜ！！！！

厚真町学校給食センター
Facebookで検索！
本日の給食紹介！

『Facebook』は
ログイン後検索！！

であいと、まなびと。 北海道厚真町教育委員会 note
https://note.com/atsuma_edu
厚真で学ぶ子ども達・頑張る大人の姿をお届け！



北海道厚真町
であいと、
まなびと。

英会話教室第2期始めます！

第2期の英会話教室の参加者を募集します。講師は、新しく赴任したジョン・ジュンジ・シマザキ先生（4ページ参照）です。初心者クラスと上級者クラスに分かれて、英語を使ったゲームやクイズなどを行いながら、あいさつや自己紹介等、日常的に使える英語や日ごろの出来事について参加者同士で会話を中心に楽しく英語を学びます。

【令和7年度英会話教室（第2期）】

- 日 時 10月1日～12月3日までの毎週水曜日（第2期） 全10回
17時30分～初心者クラス、18時15分～上級者クラス
※希望する場合は、両方のクラスに参加できます。
- 場 所 青少年センター2階 研修室
- 対 象 どなたでも（※幼児、小学生は保護者の同伴をお願いします。）
- 参加費 無料
- 申し込み 右記QRコードからお申し込みください。※電話での申し込みも可能です。
教育委員会社会教育グループ ☎27-2495



申込フォーム

よろしくお願いします



上厚真パークゴルフ場の 利用休止について

上厚真パークゴルフ場は、芝の補修作業のため、8月31日（日）をもって今年度の利用を終了いたします。大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、新町町民広場パークゴルフ場と本郷いこいの森パークゴルフ場は、通常どおり11月15日（土）まで利用可能です。引き続きご利用ください。

【問合せ】教育委員会社会教育グループ（スポーツセンター） ☎27-3775



★厚真町のALT(英語指導助手)紹介★



ラシャーン先生（小学校勤務）

こんにちは！ラシャーンです。アメリカのジョージア州出身です。
 去年の9月から、小学校で勤務しています。
 ビデオゲームとスポーツが好きです。好きなゲームはパックマンです。
 趣味は空手と太鼓です。好きな太鼓の演目は「大河」です。
 厚真町の皆さんと活動できることを楽しみにしています。僕らしく持ち前の明るさで皆さんを楽しませます！ありがとうございます。



ジョン先生（中学校勤務）

こんにちは！ジョンです。アメリカのバージニア州出身で、ホワイトハウスの近くに住んでいました。言語を学ぶこと、武道、スポーツが大好きです。これまでにフランス、スイス、タイにも住んだことがあります。アメリカに帰ったら弁護士になるための学校に通う予定です。そして2学期から中学校で教えます。厚真町の皆さんと出会えること、そして英語を教えることをとても楽しみにしています。どうぞよろしくお願いします。

7月定例教育委員会

7月31日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

第1回小中高生徒指導連絡協議会議について
 ／中央地区学校運営協議会第2回会議について
 ／厚南地区学校運営協議会第2回会議について
 ／令和7年度第2回公立高等学校配置計画地域別検討協議会について
 ／中村奨学金、近藤奨学金、加賀谷厚三・明美奨学金給付者の決定について
 ／企業の地域貢献活動について
 ／町内外とのつながりづくり創出事業開催
 ／令和7年度「少年の主張」胆振地区大会
 ／厚真のダム周辺散策ツアー 他11件

◆議案

外国青年英語指導助手任用規則の一部改正について 他2件

◆協議

部活動の地域展開及び総合型地域文化・スポーツクラブの設立準備について

★問合せ

教育委員会学校教育グループ

☎27-2494

ありがとう！メリッサ先生！ 4年間、本当にありがとうございました！



いつでも厚真町に遊びに来てくださいね！



【メリッサ先生からのメッセージ】

こんにちは！メリッサです。
 この4年間、ここ厚真町に住んでいて、北海道に住みながらいろいろなことを楽しんできました。もうすぐカリフォルニアのロサンゼルスに帰りますが、もうすでに厚真町を離れるのが寂しいです。アメリカに帰ったら、学校に通う予定です。厚真町の皆さんからたくさんのことを学びました。いろいろとお世話になりました！

図書室だより

青少年センター図書室

☎27-2495



27年ぶり！芥川賞・直木賞 該当作なし



毎年ニュースになる「芥川賞」と「直木賞」の発表。本にあまり詳しくない方も、名前だけは何となく聞いたことがあるのではないのでしょうか。芥川賞・直木賞とはどのような賞なのか、そして、この賞にまつわるエピソードをご紹介します。

7月16日、2025年上半期の芥川賞・直木賞選考会が行われましたが、芥川賞・直木賞ともに「該当作なし」という結果になりました。

両賞そろっての該当作なしは、1997年以来27年ぶりですが、芥川賞は2011年、直木賞は2006年に該当作なしの年がありました。1年に2回、上半期と下半期に選考会がありますので、他の文学賞に比べるとチャンスが多い賞なのかもしれません。

両賞該当作なしの1997年下半期の選考委員は誰だったのか調べてみると、芥川賞は石原慎太郎、宮本輝、丸谷才一など、直木賞は平岩弓枝、田辺聖子、渡辺淳一、五木寛之といった著名な作家たちが務めていました。この方たちが該当なしと決めたのであれば、そうなのだろうと思うメンバーですね。

芥川賞といえば、第1回芥川賞(1935年)にノミネ

ートされながらも落選した太宰治が有名です。選考委員だった佐藤春夫(詩人・小説家)に芥川賞受賞を懇願する長文の手紙(なんと長さ4m!)を出しましたが、その甲斐なく、第1回は石川達三、第2回は該当作なしという結果でした。結果に納得がいかない太宰は、選考委員の川端康成を名指した反論文を発表するなどしました。

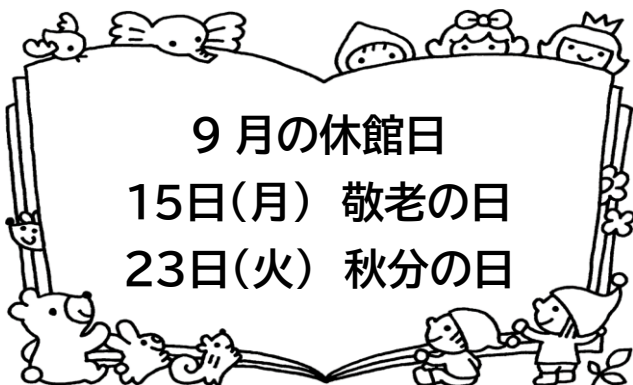
佐藤春夫に送った長文の手紙のエピソードは証拠がなく、フィクションではないかと疑われていましたが、2015年に佐藤春夫のご家族が保存していた手紙が見つかり、事実であることが証明されました。

昔と今では社会情勢も変わって、賞金がなければ生活できないということはないかもしれませんが、現代の新人作家さんにも、太宰治のように真摯に作品に向き合う情熱があっても良いのかな…と思います。

■ ■ ■ ところで…「芥川賞」と「直木賞」ってどんな賞なの？ ■ ■ ■

芥川賞とは、芸術性を踏まえた優れた純文学を書いた新人に与えられる文学賞で、正式には「芥川龍之介賞(あくたがわりゅうのすけしょう)」といいます。また、直木賞は、無名・新人または中堅作家による大衆小説に与えられる文学賞で、正式には「直木三十五賞(なおきさんじゅうご)しょう」といいます。

1935(昭和10)年に、文藝春秋の創設者である菊池寛(小説家、劇作家)が、日本を代表する純文学作家の芥川龍之介と、小説家、脚本家、映画監督である直木三十五の業績を記念して創設し、年に2回発表されています。



9月の休館日

15日(月) 敬老の日

23日(火) 秋分の日

■ 青少年センター図書室開館時間

9時00分～17時00分(月・水・金・土・日)

9時00分～19時00分(火・木)

※祝日、年末年始は休館となります。

■ 厚南会館図書室

9時00分～17時00分(月～日)

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

あそびに
きてね！

9月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは
25日(木) 10時00分から10時30分まで
場所：青少年センター絵本コーナーです。



☆ 放課後子ども教室活動報告 ☆

子どもたちが心待ちにしていた夏休み。北海道でも高まる気温の影響を受けて、約1カ月にわたる夏休みでしたが、終わってみると、あっという間に過ぎてしまったという子も多いのではないのでしょうか。各学校では2学期がスタートします。夏から秋、そして、冬へと季節の移ろいを肌で感じることでできる4カ月です。子どもたちと全力で楽しんでいきたいと思います。

夏といえばキャンプに出かけられた人もいるでしょう。放課後子ども教室では、夏の特別教室として、日帰り1泊2日のキャンプを組み合わせた活動を行いました。子ども教室として宿泊をともなうキャンプを実施するのは12年ぶり。子どもたちのからのリクエストも多かったので、企画することにしました。活動場所には、軽舞遺跡調査整理事務所と旧軽舞小の校庭をお借りし、野外炊事やテント泊にチャレンジです。

1日目は、夜ごはんの食材を集めるために、ご近所の皆さんのところへお邪魔し、食材をいただく代わりに必要なお手伝いをしてくるプログラムを行いました。軽舞にある正楽寺さんでは、お盆に向けて仏具磨きのお手伝いをしました。ピカピカにするぞ、という気合と心意気を胸に向き合う子どもたちの表情はとても真剣です。土居ハスカップ農園さんでは、デザート用のブルーベリーの摘み採りと玉ねぎの選別作業を、丹羽林業さんでは花壇の手入れをして、夏野菜のおすそ分けをいただきました。ほかにも、薪を作るチームやお米を用意するチームと、みんなで手分けをして夜ごはんに向けて準備を進めました。そうして、羽釜で炊いたお米に、夏野菜たっぷりのカレーが完成。子どもたちはもちろん、日帰り組のお迎えに来た保護者の方や、ご協力いただいた地域の方にも喜ばれる素敵なディナーになりました。地域の方々のご協力に、改めてお礼を申し上げます。

夜半にかけて雨マークが並ぶ天気予報には抗えず、残念ながらテントでの宿泊とはなりませんが、みんなで寝袋を並べて眠れるワクワク感は、キャンプの醍醐味です。そのワクワク感を全力で楽しみ切った子どもたち。眠い目をこすりながら、2日目の朝を迎えました。幸い、大雨や雷も、カンカン照りのお日さまも程よく避け、屋外で過ごすにはちょうど良い天候に恵まれました。水遊びを楽しんだり、室内でのカードゲーム大会で盛り上がり、思い思いに過ごした2日目のクライマックスは流しそうめんでお昼ごはんです。2リットルのペットボトルを加工して、流しそうめんレーンを開発してくれたチームに感謝しつつ、美味しいお昼を食べ、2日間のプログラムを終えました。子どもたちにとって夏の良い思い出になってくれれば幸いです。

